生産・保全現場で取り組んだ改善事例の優秀発表が集う!

優秀改善事例全国大会



2023年 10月 19日 (木) 10:00~16:30 名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市熱田区) 2023

- ジ デジタル技術を利用した改善
- 故障・不良ゼロの取組み
- 予知・予防保全 etc.

6月に全国7地域で開催した 改善事例発表大会にて、全84事例の中から 「<mark>優秀改善賞</mark>」を受賞した

20社・23事例の発表が聴講できます



全国の優秀事例が





発表者による、大会への意気込みや改善に至るまでの声を HPにて公開中!!大会詳細もあわせてご確認ください





プログラム

9:30			付(A会場前スペース)		
		A 会 場 (レセプションホール)	B 会 場 (会議室234)		
10:00	▶ 10:10	開会・あいさつ		開会・あいさつ	
	A-1	攻めの保全で設備の維持管理	B-1	シザーリフター割れの メカニズム解析による発生源対策	
10:10 ▼ 10:30	設備保全 中 部	トヨタ自動車株式会社 上郷工場・下山工場 製造支援部 チームリーダー 第3支援課 森永 弘志	運転·製造 西 日 本	マツダ株式会社 防府工場 第4車両製造部 工務係 宮田 純次	
10.30	キーワート゛	●設備の管理方法・基準の見直し ●品質安定化・向上●予防保全・予知保全	キーワート゛	●設備の信頼性向上 ●改良保全	
	A-2	『圧縮機組立ライン 運転検査 【INJ逆流NG】不良ゼロ化』取組み	B-2	パイプ切断時の切りカスによる圧痕キズ改善 〜プレスカット 切りカスへのこだわり〜	
10:40 ▼	製造品質向上支援関大の大学を関する。	ダイキン工業株式会社 堺製作所 空調生産本部 臨海製造部 小高 範明	運転·製造 中 部	株式会社三五 八和田山工場 工長 第2製造部 第5製造課 矢沢 フェルナンド	
11:00	‡-ワ-ト <u>゙</u>	●品質安定化・向上 ●設備の管理方法・基準の見直し	‡-ワ-ト <u>゙</u>	●品質安定化・向上 ●安全	
	A-3	設備故障における故障解析手法と 故障メカニズム特定による対策事例	B-3	なぜ手動? 純水濾過装置再生自動化への挑戦!	
11:15 ▼	設備保全 西 日 本	UBE株式会社 生産・技術本部 宇部ケミカル工場 チームリーダー 設備管理部 工務グループ 技術管理チーム 高橋 弘一	設備保全 東北·北海道	株式会社デンソー岩手 環境施設部 施設保全課 佐藤 健一	
11:35	‡-ワ-ト <u>*</u>	●改良保全 ●設備の信頼性向上	‡-7- ト ゙	●安全 ●品質安定化・向上 ●保全作業の効率化・容易化	
	A-4	マーキング異常による停止ロスの低減	B-4	故障停止時間ゼロへの挑戦!! ~ロータリーチャックの状態監視による故障未然防止活動~	
11:45 ▼	設備保全	アイシン軽金属株式会社 ダイカスト工場 ダイカスト第一製造部 V/B·後処理グループ 名村 太一	設備保全中部	愛三工業株式会社 豊田工場 係員 工場管理部 製造技術課 李裕燦	
12:05	‡-J-*	●予防保全・予知保全	‡-7-h"		
12:05	▶ 13:05		昼食	▼ / \	
	A-5	コンベア・ドクター導入によるレール測定方法の改善 B-5 徹底法の改善			
13:05	設備保全	トヨタ自動車東日本株式会社	設備保全	旭化成株式会社	
▼ 13:25	東北·北海道	岩手工場組長 工務部第1設備課塗装設備係 今井嘉祐	関 東	製造統括本部 川崎製造所 交替オペレーター アクリル樹脂製造部 PMMA製造課 重合係 小野 雄大	
	キーワート゛	●予防保全・予知保全 ●人財育成	‡-7- ト ゙	●作業の効率化・容易化 ●改良保全 ●環境・省エネルギー	
	A-6	ムーンルーフ工程自責停止時間の低減	B-6	焼鈍炉ラジアントチューブ点検 安全で正確な方法の確立 一気に時代の最先端へDXで危険作業廃止!	
13:35	設備保全中部	トヨタ車体株式会社組長吉原工場組長車体部 プレス保全課杉浦 和弥	設備保全中国·四国	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所 倉敷地区 設備部 冷延電磁設備室 中村 祐弥	
13:55	‡-ワ- ト ゙	●品質安定化・向上	‡-7- 1°	●安全 ●デジタル技術を利用した改善 ●作業の効率化・容易化	
	A-7	ボルト溶接設備の常態監視への挑戦	B-7	発想を変えた器具の使い方による難姿勢作業の解消	
14:10 ▼	運転·製造 中国·四国	マツダ株式会社 本社工場 車体製造部 車体工務技術Gr 工務係 三浦 美幸	運転·製造 関 西	敷島製パン株式会社 神戸冷食ブラント 班長 製造課ペーストリー一係 ペーストリーライン 大城 謙也	
14:30	‡-7- \ *	●設備の信頼性向上 ●品質安定化・向上 ●デジタル技術を利用した改善	‡-7- \ "	●作業の効率化・容易化	
	A-8	HOOD建付け精度向上	B-8	1モータHV ステータライン 溶接玉垂れ不良撲滅	
14:40 ▼	設備保全	日産自動車株式会社 追浜工場	運転·製造	株式会社アイシン 主任	
15:00	関東	製造部 車体課 大下 悠仁	中 部	製造技術室 保全技術グループ 都築 拓也	
	‡-ワ-ド	●品質安定化・向上 ●設備の管理方法・基準の見直し	‡-ワ-ド	●品質安定化・向上	
15:00 ▶ 15:15		投票 · 休憩			
15:15 ▶ 16:15		特 別 講 演 (A会場)			
16:20 ▶ 16:30 表		影 式 (A会場)			

9	:30	開場・受付(A会場前スペース)				
		C 会 場 (会議室232.233)				
10:00 ▶ 10:10		開会・あいさつ				
	C-1	可視化システム構築による品質不良撲滅				
10:10	運転·製造	ジヤトコ株式会社 八木工場				
▼ 10:30	関 東	工務部保全技術課 片山 真也				
	‡-ワ-ト <u>`</u>	●設備の信頼性向上				
	C-2	特殊グレードを取り戻せ 〜ストレーナー詰まりと製品白濁の解消〜				
10:40	設備保全	旭化成株式会社 製造統括本部 水島製造所 フィールドオペレーター モノマー製造第二部スチレン製造課 板谷 良樹				
▼ 11:00	中国·四国					
	キーワート゛	●設備の信頼性向上●設備の管理方法・基準の見直し●人財育成				
	C-3	ミキシングヘッド『顔料詰まり』低減対策				
11:15 ▼	設備保全	豊田合成株式会社 尾西工場 SS製造部 製造技術課 棚橋 進哉 ●予防保全・予知保全				
11:35	中部					
	‡-ワ-ト <u>゙</u>					
	C-4	兆候管理による長時間停止ゼロへの挑戦				
11:45	運転·製造	トヨタ自動車九州株式会社 宮田工場				
▼ 12:05	西日本	組立部組立設備課 竹本 らら				
	キーワート゛	●品質安定化・向上				
12:05	▶ 13:05	昼 食				
	C-5	私の家より高いチョックを守れ				
13:05	C-5 設備保全	愛知製鋼株式会社				
13:05 ▼ 13:25		2.1.2.2.1.1.2.1.2.1.				
▼	設備保全	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー				
▼	設備保全中部	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人				
▼ 13:25	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド	愛知製鋼株式会社 鋼カンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全				
▼ 13:25	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒				
13:25	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド C-6 設備保全	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所				
13:25 13:35 ▼ 13:55	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド C-6 設備保全 関 西	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所 (化成品製造部 製造第2課 戸髙 祐幸				
13:25 13:35 13:55	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド C-6 設備保全 関 西 ‡-ワ-ド	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所 化成品製造部 製造第2課 戸高 祐幸 ● 品質安定化・向上				
13:25 13:35 ▼ 13:55	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド C-6 設備保全 関 西 ‡-ワ-ド	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所 (化成品製造部 製造第2課 戸髙 祐幸 ● 品質安定化・向上 スポット冷却水配管 水漏れゼロへの挑戦 トヨタ車体株式会社				
13:25 13:35 13:55 14:10	設備保全 中 部 ‡-ワード C-6 設備保全 関 西 ‡-ワード	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所 (化成品製造部 製造第2課 戸髙 祐幸 ● 品質安定化・向上 スポット冷却水配管 水漏れゼロへの挑戦 トヨタ車体株式会社 吉原工場				
13:25 13:35 13:55 14:10 14:30	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド C-6 設備保全 関 西 ‡-ワ-ド C-7 運転・製造 中 部	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所 (化成品製造部 製造第2課 戸髙 祐幸 ● 品質安定化・向上 スポット冷却水配管 水漏れゼロへの挑戦 トヨタ車体株式会社 吉原工場 プラント環境生技部 動力課 阪西 奏一郎				
13:25 13:35 V 13:55 14:10 V 14:30	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド C-6 設備保全 関 西 ‡-ワ-ド C-7 運転・製造 中 部	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所 化成品製造部 製造第2課 戸髙 祐幸 ● 品質安定化・向上 スポット冷却水配管 水漏れゼロへの挑戦 トヨタ車体株式会社 吉原工場 ブラント環境生技部 動力課 阪西 奏一郎 ● 予防保全・予知保全				
13:25 13:35 13:55 14:10 14:30	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド C-6 設備保全 関 西 ‡-ワ-ド C-7 運転・製造 中 部	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ●設備の信頼性向上 ●改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所 化成品製造部 製造第2課 戸高 祐幸 ●品質安定化・向上 スポット冷却水配管 水漏れゼロへの挑戦 トヨタ車体株式会社 吉原工場 ブラント環境生技部 動力課 阪西 奏一郎 ●予防保全・予知保全 A · B 会 場 に て 8 事 例 目 の 発 表				
13:25 13:35 13:55 14:10 14:30	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド C-6 設備保全 関 西 ‡-ワ-ド C-7 運転・製造 中 部 ‡-ワ-ド	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所 化成品製造部 製造第2課 戸髙 祐幸 ● 品質安定化・向上 スポット冷却水配管 水漏れゼロへの挑戦 トヨタ車体株式会社 吉原工場 ブラント環境生技部 動力課 阪西 奏一郎 ● 予防保全・予知保全 A · B 会 場 に て 8 事 例 目 の 発 表				
13:25 13:25 13:35 14:10 14:30 14:40 15:00	設備保全 中 部 ‡-ワ-ド C-6 設備保全 関 西 ‡-ワ-ド C-7 運転・製造 中 部 ‡-ワ-ド	愛知製鋼株式会社 鋼力ンパニー 鋼片圧延課 本郷 雅人 ●設備の信頼性向上 ●改良保全 ソフトセンサーを用いた有機ガス処理設備の安定性向上 株式会社日本触媒 姫路製造所 化成品製造部 製造第2課 戸高 祐幸 ●品質安定化・向上 スポット冷却水配管 水漏れゼロへの挑戦 トヨタ車体株式会社 吉原工場 ブラント環境生技部 動力課 阪西 奏一郎 ●予防保全・予知保全 A · B 会 場 に て 8 事 例 目 の 発 表				

【投票(15:00~15:15)】 @A会場前

本大会ではみなさまの投票により、 「大会特別賞」を選出し表彰します

お1人2票の投票権がありますので、 15:00~15:15の投票時間に A会場前受付にて 投票のご協力をお願いいたします

【特別講演(15:15~16:15)】 @A会場

「アンガーマネジメントで職場環境を改善」

ー般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントファシリテーター **重本 詠美子 氏**









「改善事例発表大会」にて、最も輝いた発表に贈る

「優秀改善賞」を受賞した改善事例が一堂に集う大会!

※ 改善事例発表大会は、毎年6月に全国7地域に分けて開催





数々のモノづくり現場で挑み続ける改善事例のなかでも、2023年は、選りすぐりの全国23事例(20社)が集結!

※ データやデジタルを活用した改善事例が例年よりも増加傾向



最先端の現場改善と、

試行錯誤を繰り返しながら取り組む挑戦者の熱いな

は、あなたの現場に活かせるヒントや刺激が盛りだくさん!

発表事例 (A会場:レセプションホール)

Δ-1

設備保全

攻めの保全で設備の維持管理

(中部地域)

トヨタ自動車株式会社

上郷工場・下山工場 製造支援部 第3支援課 チームリーダー **森永 弘志**

安定稼働・生産性向上に向けて、設備故障を早期発見し、 予知保全・設備の兆候管理をする事で突発故障保全から脱却した全員参加で取り組んだ活動事例を発表する。

設備の管理方法・ 基準の見直し

品質安定化・向上

予防保全・予知保全

予防保全・予知保全

トヨタ自動車東日本株式会社

工務部 第1設備課塗装設備係

人財育成

コンベア・ドクター導入による

レール測定方法の改善

ボデー搬送設備の要となるコンベアレールの摩耗という問

題に対し、力ずくでの保全を実施していたものをメンバーの知恵と工夫、団結力で改善し大きな効果を上げた事例を

A-2

製造品質向上支援

『圧縮機組立ライン 運転検査 【INJ逆流NG】不良ゼロ化』取組み

(関西地域)

ダイキン工業株式会社

堺製作所 空調生産本部 臨海製造部

小高 範明

新規圧縮機立上げ当初から発生していた慢性不良をどう解決するべきか困惑する中、データを基にQC・SQC手法を活用~定量的に判断し、見えない所には5ゲンを基に理論・理屈に沿って取組みを進め、現状の実力把握から工程を安定化させる事で、ゼロ化を達成した事例を発表する。

品質安定化・向上

設備の管理方法・ 基準の見直し

A-3

設備保全

設備故障における故障解析手法と故障メカニズム特定による対策事例

(西日本地域)

UBE株式会社

生産・技術本部 宇部ケミカル工場 設備管理部 工務グループ 技術管理チーム チームリーダー **高橋 弘一**

設備故障の原因は、1次要素のみならず2次要素以上の複合的な要因が絡む場合がある。本編は撹拌機インペラの破壊現象について、「故障解析手法」を用いることで複合的な故障メカニズムを特定するとともに、その対策事例を発表する。

改良保全

設備の信頼性向上

A-4

設備保全

マーキング異常による停止ロスの低減

(北陸地域)

アイシン軽金属株式会社

ダイカスト工場

ダイカスト第一製造部 V/B・後処理グループ

名村 太一

チョコ停が多く発生している、ポンチマーキング異常について調査を行い、自職場と保全の考えを交えて止まらない設備にチャレンジした事例を発表する。

予防保全・予知保全

設備保全

(東北·北海道地域)

岩手工場

発表する。

A-6 設備保全

ムーンルーフ工程自責停止時間の低減

(中部地域)

トヨタ車体株式会社

吉原工場

車体部 プレス保全課

組長 杉浦 和弥

組長

嘉祐

今#

アルミルーフ切粉による面品質異常により、ラインを停止させ切粉除去を行っていたので、切刃形状を変更し切粉が発生しにくい形状を発見してライン停止時間を429分/月から5分/月、99%低減させた事例を発表する。

品質安定化・向上

A-7

運転·製造

ボルト溶接設備の常態監視への挑戦

(中国·四国地域)

マツダ株式会社

本社工場

車体製造部 車体工務技術Gr 工務係

三浦 美幸

ボルト溶接設備の故障が多く様々な改善を繰り返し行ってきたが、送給不良による故障がなかなか低減できず悩んでいた。TBMからCBMへ挑戦し、設備の劣化傾向を見える化・監視することで適正な時期に適正なメンテナンスを実施し、故障を未然に防ぐことに成功した事例を発表する。

設備の信頼性向上

品質安定化・向上

デジタル技術を 利用した改善

A-8

設備保全

HOOD建付け精度向上

(関東地域)

日産自動車株式会社

追浜工場

製造部 車体課

大下 悠仁

HOOD自動機建付けのバラツキが大きく、HOOD調整作業遅れの要因となっていた。そのため、設備の原理原則から建付けのバラツキの原因を掴み、真因の対策を実施することができた。この取組みの事例を発表する。

品質安定化・向上

設備の管理方法・ 基準の見直し

発表事例(B会場:会議室234)

B-1

運転·製造

シザーリフター割れの メカニズム解析による発生源対策

(西日本地域)

マツダ株式会社

防府工場

第4車両製造部 工務係

宮田 純次

故障のメカニズム解明にCAEを用いて機械的弱点部位の診える化にチャレンジした。活動を進めていく中で解析データが上手く取れなかったり、対策案で試行錯誤したが、サークルメンバー全員で今回の問題を解決した事例を発表する。

設備の信頼性向上

改良保全

B-2

パイプ 切断時の切りカスによる 圧痕キズ改善

運転·製造 (中部地域)

~プレスカット 切りカスへのこだわり~

株式会社三五

八和田山工場 第2製造部 第5製造課 工長 **矢沢 フェルナンド**

パイプ圧痕不良の対策に取り組み、発生メカニズムを解析したところ、切りカスを押しつぶしながら切断していた事が判明した。切断刃の形状を見直し、せん断領域を広げる事で押しつぶしながら切断する領域が減少し、切りカスによる不具合が低減した事例を発表する。

品質安定化・向上

安全

B-3

設備保全

なぜ手動?

純水濾過装置再生自動化への挑戦!

(東北·北海道地域)

株式会社デンソー岩手

環境施設部 施設保全課

佐藤 健一

純水製造濾過装置の再生工程を30年来受け継がれてきた人 手作業から、自動化に至るまでの課題抽出、対策、効果検 証を実施し、作業の効率化を実施した改善の事例を発表す る。

安全

品質安定化・向上

作業の 効率化・容易化

B-4

故障停止時間ゼロへの挑戦!!

設備保全

(中部地域)

愛三工業株式会社

豊田工場 工場管理部 製造技術課 係員 **李 裕燦**

故障ワーストライン常連であるポンプ加工で使用している ロータリーチャックの寿命延長と兆候管理によるCBM化へ

の取り組んだ事例を発表する。

設備の信頼性向上

設備の管理方法・ 基準の見直し

人財育成

B-5

設備保全 **徹底法の改善**

(関東地域)

旭化成株式会社

製造統括本部 川崎製造所 アクリル樹脂製造部 PMMA製造課 重合係 交替オペレーター小野 雄大

近年のコロナによる情勢の変化が著しく、エネルギー単価 上昇率を見ても異例な状況である。情勢の変化に対応する 為、今までの常識にとらわれず、斬新且つ大胆に作業改善 した事例を発表する。

作業の 効率化・容易化

改良保全

環境・省エネルギー

B-6 設備保全

焼鈍炉ラジアントチューブ点検 安全で正確な方法の確立 一気に時代の最先端へDXで危険作業廃止!

(中国·四国地域)

JFEスチール株式会社

西日本製鉄所 倉敷地区 設備部 冷延電磁設備室

中村 祐弥

チューブの点検は高所で危険を伴うため過去より様々な改善方法を試してきた。360度カメラやタブレット、スマホなどのITや画像診断AIを導入し、最新のDXを活用することで、安全かつ確実な点検作業方法を確立した。

安全

デジタル技術を 利用した改善 作業の 効率化・容易化

B-7

運転·製造

発想を変えた器具の使い方による 難姿勢作業の解消

(関西地域)

敷島製パン株式会社

神戸冷食プラント

製造課ペーストリー一係 ペーストリーライン

班長 **大城 謙也**

流れてきた製品を片側に寄せる作業において、腰を曲げた状態で行う作業者の負担解消に向け活動を開始。自動化することで不良がでないよう製品の最適な角度や今あるユニットの使い方を変えて検証した結果、難姿勢作業そのものを無くすことができ、結果として少人化や原価低減にも繋がった事例を発表する。

作業の 効率化・容易化

B-8

運転·製造

1モータHV ステータライン 溶接玉垂れ 不良撲滅

(中部地域)

株式会社アイシン

安城第2工場

主任

製造技術室 保全技術グループ

都築 拓也

ハイブリッドユニットのモーターステータのコイルをTIG溶接しているが、溶接点の玉垂れによる不良に悩んでいた。玉垂れが発生する瞬間を見える化することでメカニズムを把握し、シールドガスなど加工点の良品条件を定めて不良を撲滅した事例を発表する。

品質安定化・向上

発 表 事 例 (C会 場 : 会 議 室 2 3 2 . 2 3 3)

C-1

運転·製造

可視化システム構築による 品質不良撲滅

(関東地域)

ジヤトコ株式会社

八木工場

工務部 保全技術課

片山 真也

急激に増加した設備起因する品質不良。8の字展開法から問 題を解決するストーリーを展開し、さらには『ラズパイ』 を使用したDX活動で維持管理に落しこみ見事品質不良を撲 滅することができた事例を発表する。

設備の信頼性向上

C-2

設備保全

特殊グレードを取り戻せ ~ストレーナー詰まりと製品白濁の解消~

(中国·四国地域)

旭化成株式会社

製造統括本部 水島製造所 モノマー製造第二部スチレン製造課 フィールドオペレーター 板谷 良樹

プラント定期修理工事後から発生していた反応ポンプスト レーナーの閉塞および製品白濁による作業負荷の増大と品 質異常の問題を、製造課一丸となり原因究明、対策へ繋げ た事例を発表する。

設備の信頼性向上

設備の管理方法・ 基準の見直し

人財育成

C-3

設備保全

ミキシングヘッド 『顔料詰まり』低減対策

(中部地域)

豊田合成株式会社

尾西工場

SS製造部 製造技術課

棚橋 進哉

ウレタンハンドルを製造する工程にて、停止時間・故障件 数共にワーストになっていた【顔料詰まり】をテーマに、 苦労しながらチーム一丸となって活動してきた事例を発表 する。

予防保全・予知保全

C-4

運転·製造

兆候管理による 長時間停止ゼロへの挑戦

(西日本地域)

トヨタ自動車九州株式会社

宮田工場

組立部 組立設備課

竹本 らら

生産に大きな影響を与える長時間停止を未然に防止したい思い から、過去10年間分の停止内容を解析、発生リスクを洗い出し、 過去に実績のない新たな事に挑戦。設備兆候管理を実現化させ、 未然防止達成や安全・原価低減・人財育成に繋がる活動を目標 とした事例を発表する。

品質安定化・向上

C-5

設備保全

私の家より高いチョックを守れ

(中部地域)

愛知製鋼株式会社

鋼カンパニー 鋼片圧延課

本郷 雅人

分塊ロールチョック入替え作業で油の白濁に疑問を持ち、メン バーと議論。結果、水の侵入と原因も判明、全員参加での対策 立案と、自ら技能を学び内製化による補修で対策実施した結果、 本人の成長とスキル向上、また外注加工費低減にも貢献した事 例を発表する。

設備の信頼性向上

改良保全

C-6

設備保全

ソフトセンサーを用いた 有機ガス処理設備の安定性向上

(関西地域)

株式会社日本触媒

姫路製造所

化成品製造部 製造第2課

戸髙 祐幸

コア事業のアクリル酸生産プロセス中に発生する有機ガス 処理設備における計器の誤指示対策を、デジタル技術を用 いて実施。改善の結果、省コスト・短納期にて生産設備の 信頼性と安定性の向上を実現した事例を発表する。

品質安定化・向上

C-7

運転·製造

スポット冷却水配管 水漏れゼロへの挑戦

(中部地域)

トヨタ車体株式会社

吉原工場

プラント環境生技部 動力課

阪西 奏一郎

配管の腐食進行による300分のライン停止が発生。『再発させ ない』と強い意志を持ち、腐食メカニズムを解明、水質管理シ ステムを導入。さらに、処置の手札を増やし弱点を克服。サー クルの枠を超え他工場・他部署をも巻き込んで進めた事例を発 表する。

予防保全・予知保全

参加料 (税込み)

申込人数	会員価格	一般価格
1~9名	16,500円/名	
10~19名	13,200円/名	26,400円/名
20名以上	11,000円/名	

- 参加料には昼食代・テキスト(資料)代が含まれています
- 会員価格のみ、お申込み人数により割引がございます
- 参加料金は1申込みあたりの単価です 複数回のお申込みによる人数合算はできません
- 会員価格の適用には、以下会員であることが必要です
 - ・公益社団法人日本プラントメンテナンス協会(正会員・事業所会員)
 - · 一般社団法人日本能率協会 (法人会員)
 - ※会員ご入会の有無は、下記WEBサイトにてご確認ください
 - ・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
 - https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/
 - 一般社団法人 日本能率協会

https://list.jma-member.com/

※会員以外の方は、この機会に是非当会会員へのご入会を ご検討ください

会場アクセス

◆名古屋国際会議場

(愛知県名古屋市熱田区熱田西町1-1)





【交通機関でのアクセス】

- ・地下鉄名城線「西高蔵駅」(2番出口)下車 徒歩5分
- ・地下鉄名港線「日比野駅」(1番出口)下車 徒歩5分

参加申込み方法

◆お申込みはWebサイトから

下記「優秀改善事例全国大会」 WEBサイト「参加お申込み」からお申込みください https://info-jipm.jp/event/excellence/



- 参加申込みは、大会10日前(10/9)までにお願いいたします それ以降のお申込みは、テキスト(資料)のご用意ができない場合があることをご了承ください
- 開催日2週間前より派遣窓口ご担当者あてに請求書を送付いたします11月末までに記載の銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- お申込み後、参加予定者が参加できなくなってしまった場合は、代理の方が参加ください。小会への連絡は不要です 代理参加が不可能な場合は、下記規定によりキャンセルを申し受けます
- キャンセル規定

各大会の開催当日~7日前の参加取消し :参加料全額

※キャンセル・変更は、以下URLよりお願いいたします

https://info-jipm.jp/contact/(セミナー・イベント情報> お問い合わせ> イベント申込み後のお問い合わせ)

お願いとお断り

- 1名につき、投票権が2票与えられます参加者みなさまからの投票で「大会特別賞」を選出いたしますので、投票のご協力をお願いいたします
- ◆ 本大会は3会場にて発表を行います。同じ時間帯の事例は同時に聴講いただけません。あらかじめご了承ください
- 2024年1月にオンデマンド配信を予定しております10月19日の大会終了後、お申込み時にご登録いただいたメールアドレスに別途ご案内いたします

お問い合わせ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 中部事務所

TEL: 052-561-5634 E-mail: jipmchuubu@jipm.or.jp